

子ども ゴールに向かって自分らしさを磨こう
～心を通わせながら～



富小っ子 どまんなか学校

教職員 エージェンシーで「笑顔」と「潤い」を
～今こそ「すべての子どもたちのために」～

紙の教科書・手書きでの学び

校長 田畑 幹夫

ご存じの通り、学校では「一人一台タブレット」が整備され、授業スタイルが大きく変わりました。数年前までは、子どもの考えを交流する際、チョークで字や図を書いたり、ホワイトボードに書いたものを黒板に貼り出したりしました。今では、各タブレットとつながっているデジタル黒板を使い、全員分の考えを瞬時に集め、選び出したりしながら話し合うことができます。デジタルでのカード作成は、本校1年生もお手のもの。とても便利な時代です。

こうしたデジタルの恩恵を受ける中、数年後に学習指導要領の改訂を控えています。今のところ、中教審作業部会では「デジタル教科書」も正式な教科書と位置付けており、「紙」「デジタル」「ハイブリッド」の3つから選べる見通しとなっています。今後、教科書がどうなるのか注視していきたいです。

ところで、教育先進国として知られるスウェーデンでは、近年「紙の教科書・手書きでの学び」を重視する方向にシフトする動きが見られます。デジタル学習における「読解力や集中力の低下」が問題視されているためです。フィンランドでも同様の動きがあります。日本でも、「紙の教科書・手書きでの学び」は不可欠だという声があります。私も、小学校、特に低・中学年は絶対に必要だと考えています。

その理由です。まず、紙の本を手に取り、ページをめくりながら読む経験は「どこに何が書いてあったか」「前後の内容はどうつながっていたか」といった文章全体を空間的に捉える感覚を育てます。これは、長い文章を読解し、自分の考えを筋道立ててまとめる力の土台になります。画面上でのスクロール読みとは異なります。紙の本は読み進める中で自然と立ち止まり、考え直す時間が生まれるのです。

また、鉛筆で文字を書く「手書き学習」は、目で見て、手を動かし、書いた形を確認するという複数の働きが同時に行われます。実はこの過程がすごく大切で、脳を幅広く刺激し、言葉の理解や記憶の定着を助けます。特に、文字や言葉の基礎を身に付ける低・中学年の時期においては、手書きの経験が思考力や表現力の基盤をつくるとのことです。

さらに、紙を使つての学習は、余計な情報に気を取られにくいので、集中することができます。集中して「読む」「書く」「考える」。その積み重ねこそ「学ぶ力」を磨くのです。

ただ、今やデジタルから逃れることはできないのも事実です。大切なのは、どちらか一方を選ぶのではなく、子どもたちの成長段階や学習内容に応じて、両者の良さを生かすことだとよく言われます。「ベストミックス」によって、より質の高い学びが実現できるはずですよ。

今日で2学期が終了します。今学期も本校教育へのご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。明日からの冬休み。まずは、安全第一・健康第一でお過ごしください。そして、家族と過ごす時間の中で「自己有用感」が高まるよう活躍の場をつくってあげてください。家の中でのお手伝い「自分のことは自分でがんばる」「子どもならではの発想を生かす」など、メディア・コントロールの取組とあわせて、よろしくお祈りします。良い年をお迎えください。



防災教室！

12月9日（火）に4年生が社会科「災害に備えるまちづくり」で、空知川河川事務所の山本さん、市防災担当の倉橋さんのご協力のもと、防災教室を行いました。「洪水で堤防が壊れたら？」「水害からいのちをまもるために」などの講話をしていただき「災害が起きたときのためにどのように備えているか」や「避難所ではどのように過ごすのか」について、学びを深めました。その後、グループで協力して、段ボールベッドやテントを組み立てるなどの避難所設営を行いました。普段、なかなかできない経験を通して、防災意識を高めることができました。



様々な交流の場

山部小学校との交流学习（6年生）

11月28日（木）山部小学校の6年生と一緒に学習を行いました。山部小学校の同級生が気持ちよく生活できることを考えながら、行動をしていました。

交流学习を通じて、新しい経験やコミュニケーションをはじめ、人とのつながりの広がりを感じることができました。

西脇小との交流（4年生）

12月11日（木）兵庫県の西脇小学校と遠隔交流を行いました。前半は、自己紹介をしたり、お互いの学校や地域のことについて質問し合ったりしました。後半は、富良野小学校の子どもたちが「へそ祭り」のことについて紹介し、西脇小学校の子どもたちからによる「学校の特徴」や「播州織り」などの伝統文化について話を聞きました。給食時には、メニューを紹介し合いました。最初は少し緊張した様子の子どもたちでしたが、すぐに慣れ親しみ、楽しくお互いの学校や地域のことについて交流することができました。

安謝小との交流（6年生）

12月12日（金）沖縄県の安謝小学校との遠隔交流学习がありました。今回の交流では、沖縄県の気候や方言、名字等について、クイズ等を交えながら、楽しく聞くことができました。また、発表を聞いた後は、班ごとに他愛のない話をたくさんしました。「沖縄の気温は？」「どんなゲームが流行っている？」など、小学生同士すぐに打ち解け笑ったり驚いたり、とても充実したひとときを過ごすことができました。2月は北海道の冬の気候について発表し、給食交流もする予定です。



児童の心に響く道徳教育

「子供は地球のたからものー海外医療ボランティアで出会った子供たちー」と題して、富良野協会病院の診療部長で整形外科医の矢倉幸久さんに講演をしていただきました。講演では、貧困や災害、病気など、さまざまな困難に直面している世界の子どもたちの様子や、十分な医療や食料を得られず、不安定な生活を送っている現状についてお話がありました。

また、矢倉さんが海外医療ボランティアとして「自分にできることを続けている」ことも紹介されました。このお話を聞いて、5年生は、世界の子どもたちの現状について考え、自分たちにできることは何かを考えるきっかけになりました。



防犯教室

11月27日（木）に防犯教室を行いました。事前指導で、留守番の心得や、連れ去りなどの被害防止について学びました。訓練では、校内放送の指示に従い、教室の窓側に避難し、教員がドアを机や椅子で固定しました。その後、体育館に移動し、警察署の方からのお話を聞きました。代表児童によるロールプレイングも行われました。「お菓子を買ってあげる」「一緒に行こう」などと不審者が声をかけてくる場面を想定し、距離をとることや、不安を感じたら、すぐに逃げる、絶対についていかないことなどを学び、防犯意識を高めました。



1月行事予定 2026

- 1日（木）～3日（土） 学校閉庁日
- 7日（木）冬の学習会（9:30～11:00）
- 15日（木）3学期始業式
- 16日（金）～26日（月）冬休み作品展
- 22日（木）スキー学習（6年生）
- 27日（火）スキー学習（5年生）
口座振替日
- 29日（木）スキー学習（4年生）
- 30日（金）スキー学習（3年生）